

『ニッポン美肌県グランプリ2014』決定

3年連続“島根県”が「美肌県」の座を獲得

勝因は、風や紫外線の影響を受けにくく、肌のうるおいを保ちやすい地域環境

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：鈴木弘樹）は、2014年日本で一番美しい肌を持つ県「美肌県」を、島根県に決定いたしました。この結果は、全国47都道府県で1年間（2013年9月1日～2014年8月31日）に集めた女性の肌データの分析結果（590,044件※1）をもとに県別に集計。全6部門（角層細胞が整っている、シワができてにくい、シミができてにくい、ニキビができてにくい、肌がうるおっている、キメが整っている）の合計値から偏差値を算出し、総合結果の順位を決定しました。

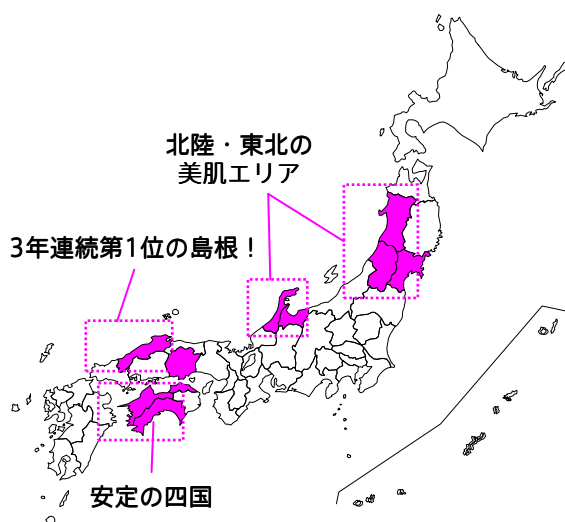
『ニッポン美肌県グランプリ2014』



1位 島根県

2位 高知県
3位 愛媛県
4位 富山県
5位 石川県

6位 宮城県
7位 秋田県
8位 山形県
9位 香川県
10位 岡山県



■美肌県グランプリの結果は、HP (<http://www.pola.co.jp/special/bihadaken/>) でも掲載しています。

[美肌県グランプリ](#)

[検索](#)

肌を分析した期間の気象環境は、日照時間※2が平年に比べ長い地域が多く、肌にとってはやや厳しい環境となりました。そのような中、美肌県グランプリの上位県は、日照時間が短く紫外線の影響を受けにくい地域が多くランクインしています。また、「水蒸気密度※3」が高く、肌のうるおいを保ちやすい県も上位にランクインしています。このことから、「紫外線によるダメージが少ない」、または「うるおいを保ちやすい」地域が高順位の座を占めている傾向がみられます。

今年的美肌県グランプリでは、日本気象協会とポーラが、気象環境が肌に与える影響を共同で研究し、日本には肌を荒らす2つの大きな風が吹いていることを発見。この風を“肌荒風（はだあらしかぜ）”と名付けました。この“肌荒風”は、吹くか吹かないかで、肌の水分を保てるかどうかを左右する要素となっており、美肌づくりに大きな影響を与えていることがわかりました。隣接する県でも結果に大きな差が生じる理由の1つが、この“肌荒風”だと考えられます。

3年連続で1位となった島根県は、年間を通じて日照時間が短く、水蒸気密度が高い傾向にあります。また、“肌荒風”の影響も受けにくい地域のため、美肌を保ちやすい環境であったことが、総合1位の獲得につながったと考えられます。

※1 アベックス スキンチェックの実施件数（2013年9月～2014年8月）

※2 日照時間：気象庁HPより（2013年9月～2014年8月）

※3 水蒸気密度：実際の大气中の水分量を表します。空気中1m³に水分が何グラム含まれているかを示し、その温度での飽和水蒸気密度×相対湿度から求めます。

【報道関係のお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ 宣伝部 TEL 03-3494-7119 / FAX 03-3494-6198 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3

◆『ニッポン美肌県グランプリ2014』総合結果

順位	都道府県	美肌偏差値
1位	島根県	72.9
2位	高知県	66.8
3位	愛媛県	66.2
4位	富山県	66.1
5位	石川県	62.1
6位	宮城県	60.5
7位	秋田県	60.0
8位	山形県	59.3
9位	香川県	58.8
10位	岡山県	57.9
11位	東京都	57.8
12位	新潟県	57.7
13位	山梨県	57.4
14位	兵庫県	55.7
15位	青森県	54.8

順位	都道府県	美肌偏差値
16位	三重県	53.8
17位	宮崎県	53.4
18位	北海道	53.3
19位	長崎県	52.8
20位	鳥取県	51.8
21位	福島県	51.8
22位	和歌山県	51.8
23位	埼玉県	51.7
24位	徳島県	51.2
25位	岩手県	50.4
26位	神奈川県	50.2
27位	大阪府	49.7
28位	奈良県	48.9
29位	熊本県	48.6
30位	千葉県	47.6

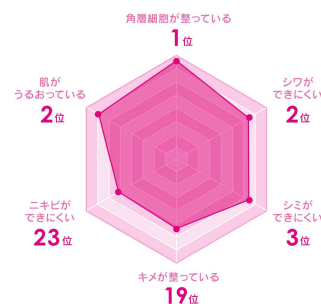
順位	都道府県	美肌偏差値
31位	福井県	46.2
32位	山口県	45.3
33位	福岡県	45.1
34位	佐賀県	44.5
35位	長野県	44.4
36位	愛知県	43.3
37位	鹿児島県	42.7
38位	京都府	41.8
39位	広島県	41.3
40位	茨城県	39.6
41位	沖縄県	39.6
42位	大分県	39.0
43位	静岡県	34.2
44位	岐阜県	33.6
45位	滋賀県	32.1
46位	栃木県	31.1
47位	群馬県	25.6

※同数値に関しては、小数点以下2位以降の数字をもとに順位づけしています。

◆『ニッポン美肌県グランプリ2014』総合結果考察（上位3県）

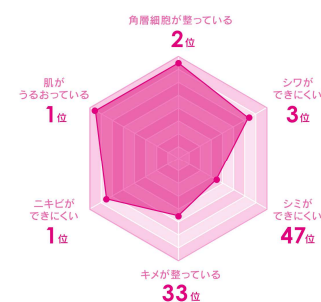
第1位 島根県

美肌日本一だった島根県は部門別に見ると、「角層細胞が整っている」1位、「肌がうるおっている」「シワができにくい」2位、「シミができにくい」3位と、4部門で高成績でした。島根県は水蒸気密度が全国9位と高く、日照時間が全国4位と短いことに加え、「肌荒風」の影響も受けにくい環境のため、美肌を保ちやすい条件が揃っていることが、3年連続1位を獲得した要因と考えられます。また、生活習慣・体調アンケート※4より、喫煙者が全国で7番目に低かったことも美肌に導いたと考えられます。



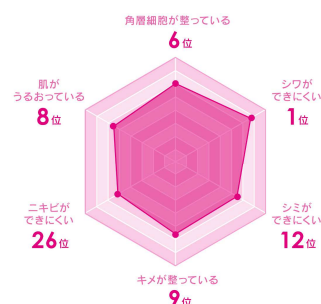
第2位 高知県

第2位だった高知県は部門別に見ると、「肌がうるおっている」「ニキビができにくい」1位、「角層細胞が整っている」2位、「シワができにくい」3位と、4部門で高成績でした。高知県の日照時間は全国33位と長めですが、水蒸気密度が全国8位と高く、「肌荒風」の影響も受けにくい環境であるといえます。また、生活習慣・体調アンケートより、「バランスの良い食事」3位、「睡眠をしっかりとれている」2位と、全体的に肌に良い生活を送っていたことも美肌に導いたと考えられます。



第3位 愛媛県

第3位だった愛媛県は部門別に見ると、「シワができにくい」1位、「角層細胞が整っている」6位、「肌がうるおっている」8位と、3部門で高成績でした。愛媛県は水蒸気密度も日照時間も全国的に中程度ですが、「肌荒風」の影響も少なく、温暖で安定した肌環境により3位という好成績に繋がったといえます。生活習慣・体調アンケートより、適度な運動をしている方が全国で9位と多かったことも美肌に導いたと考えられます。



※4 生活習慣・体調アンケート：アベックス スキンチェック 生活習慣・体調アンケートより（2013年9月～2014年8月）

◆『ニッポン美肌県グランプリ2014』部門別概要とランキング

角層細胞が整っている

肌の表面を顕微鏡で観察。角層細胞のはがれ方や並びの乱れを測定しました。肌の最表面にある角層細胞を健やかに整えるためには、「肌冷え」や「乾燥」を防ぐ必要があります。

角層細胞が整っている県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	島根県	77.2
2位	高知県	76.1
3位	岡山県	66.8

シワができてにくい

肌の表面における微細なキメの数や方向性を測定しました。シワは紫外線によるコラーゲン線維束の崩壊、乾燥した環境、うるおいの低下などによって起こります。特にシワの初期段階である浅い小シワには、「乾燥」を防ぐことが大切です。

シワができてにくい県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	愛媛県	68.5
2位	島根県	65.6
3位	高知県	64.7

シミができてにくい

肌の角層細胞におけるメラニンの量を測定しました。シミができてにくい状態を保つには、メラニンを過剰につくらせないようメラノサイトが刺激されることを防ぐ必要があります。メラノサイトが刺激される最も大きな原因は「紫外線」です。

シミができてにくい県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	秋田県	77.3
2位	石川県	69.1
3位	島根県	65.4

ニキビができてにくい

ニキビができる場所や程度、ターンオーバー（新陳代謝）の状態を調べました。ニキビは、食事、ストレスなどの生活習慣や、便秘、疲れなどの体調に影響を受けます。さらに、大人のニキビといわれる乾燥タイプのニキビは、正しい保湿ケアを行うことが大切です。

ニキビができてにくい県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	高知県	67.1
2位	神奈川県	67.0
3位	香川県	65.2

肌がうるおっている

肌の角層がうるおいを保つ力を測定しました。肌のうるおいを保つためには、「空気の乾燥」「冷暖房」などの影響を防ぐ必要があります。

肌がうるおっている県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	高知県	76.8
2位	島根県	70.2
3位	岡山県	65.7

キメが整っている

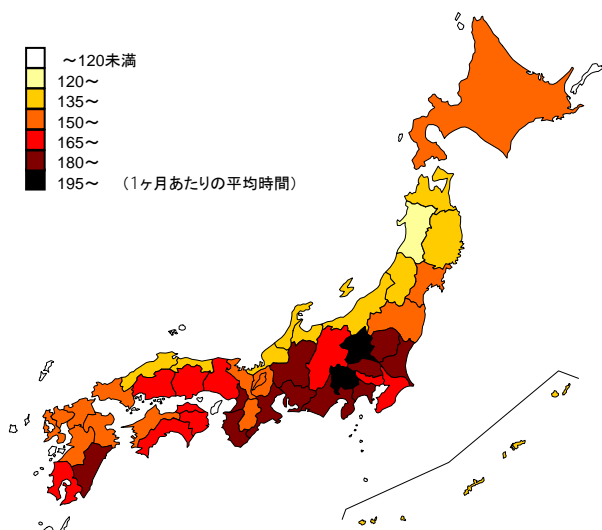
肌のキメが細かく、肌の表面がなめらかかどうかを測定しました。キメの整った肌を保つためには、「乾燥」「紫外線」「間違ったお手入れ」などの影響を防ぐ必要があります。

キメが整っている県		
順位	都道府県	美肌偏差値
1位	山梨県	65.7
2位	秋田県	65.3
3位	石川県	63.2

◆気象環境による考察① 日照時間/水蒸気密度（2013年9月～2014年8月）

【日照時間】

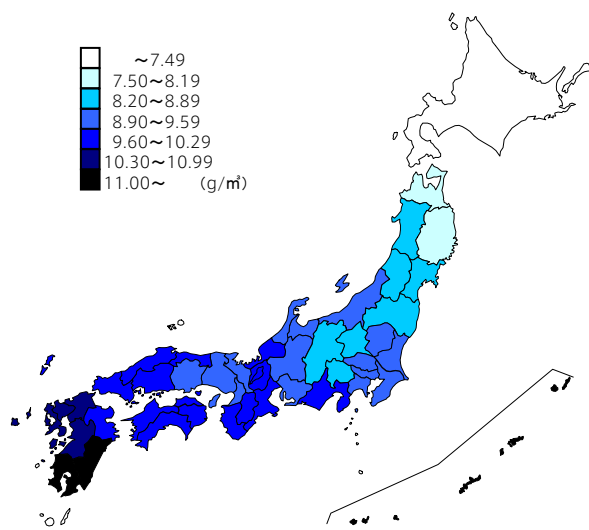
東北・日本海側の地域は、比較的日照時間が短く、紫外線の影響を受けにくいいため、肌にとっては良い環境でした。一方で、内陸部は日照時間が長く、紫外線に当たる時間が長いいため、肌にとっては厳しい環境でした。



※年間の平均日照時間を基に作成。1日の日照時間を12時間(6時～18時)とし算出。

【水蒸気密度】

九州～中国・四国地方は、空気中の水分量が多く、肌のうるおいを保ちやすい環境でした。一方で、東北地方は雪は降りますが、気温が低く、水蒸気密度が低い地域のため、うるおい面ではやや厳しい環境でした。



※年間の平均水蒸気密度を基に作成。

◆気象環境による考察② “肌荒風（はだあらしかぜ）”

日本気象協会とポーラ美容研究室との共同研究で発見。

日本には2つの“肌荒風”があった！あなたの地域の“肌荒風”に要注意。

美肌県ランキングの結果をみると、隣接県にも関わらず順位に15位以上差がある都道府県がいくつか存在します。日本は南北に細長く、列島の中央をいくつもの山脈が縦断するなど非常に複雑な地形のため、実は都道府県によって気象環境は大きく異なります。それが、隣接する県にも関わらず、肌状態の違いにつながっているのではないかと考えました。

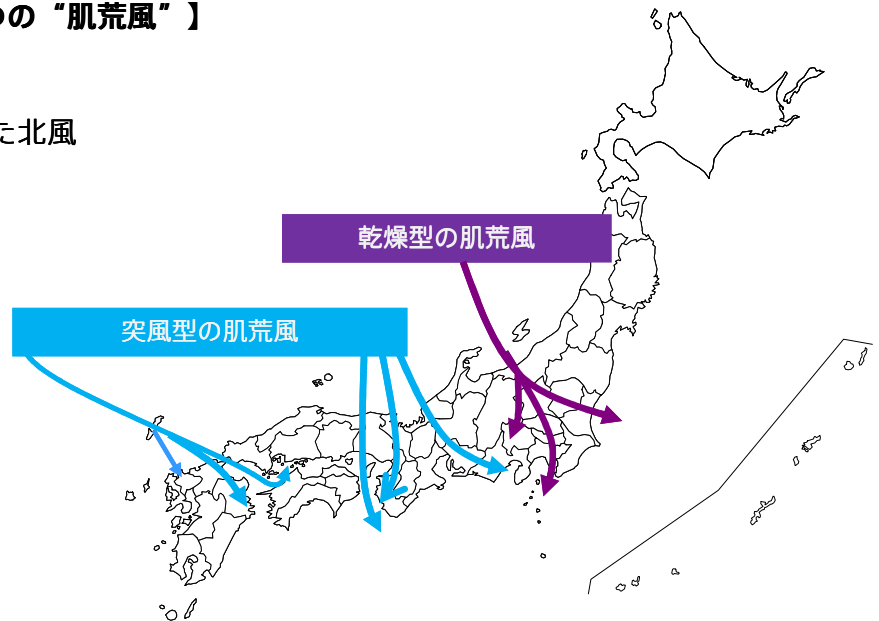
そこで、気象のビックデータを持つ日本気象協会と、1500万件*5を超える日本女性の肌のビックデータを持つポーラが、気象環境が及ぼす肌への影響を共同で研究しました。その結果、日本には肌のうるおいを奪う2つの“肌荒風”が吹いていることを新たに発見しました。この“肌荒風”は、肌のうるおい（図1）や、シワ・小ジワ（図2）に悪い影響を及ぼしている他、皮フ温の低下も招き（図3）、“顔冷え”の原因にもなっていると考えられます。

*5 2014年8月現在。

【秋～春にかけて日本に吹く、2つの“肌荒風”】

■高い山脈を越えてくる乾燥した北風
「乾燥型の肌荒風」

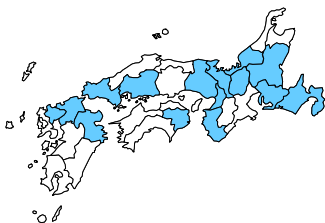
■狭い平野を通り抜ける強風
「突風型の肌荒風」



突風型の肌荒風は、**風の強さ**に注意

主に冬から春に吹く「突風型の肌荒風」に影響をうけている県

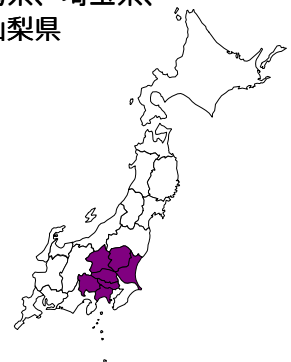
福井県、岐阜県、静岡県、愛知県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、広島県、山口県、徳島県、福岡県、佐賀県、大分県



乾燥型の肌荒風は、**乾いた風**に注意

主に秋から冬に吹く「乾燥型の肌荒風」に影響をうけている県

茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、東京都、神奈川県、山梨県



上記の県以外でも、あなたの住む地域で、北の方向に高い山が見えたら「乾燥型の肌荒風」が、そして大きな川が流れている平野やビルに囲まれた場所では「突風型の肌荒風」が吹くことが考えられますので注意が必要です。

■風の強さについて（日本気象協会より）

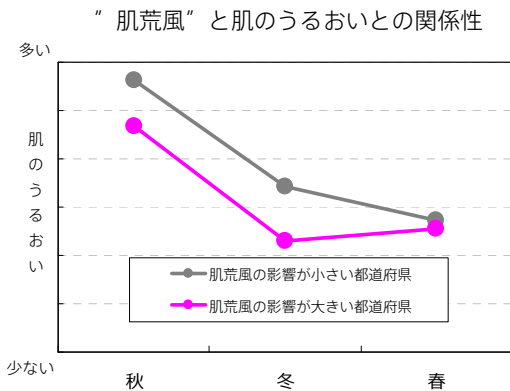
冬から春、特に初春にかけては、北ないしは西寄りの冷たい季節風が吹きやすくなります。日本海から吹くこの風は、よほど強い風でなければ、山脈を越えることができないため、地形に沿って風が通り抜けていきます。この風の通り道の幅が狭いと、ビル風のような突風が吹きやすい傾向にあります。

■乾いた風について（日本気象協会より）

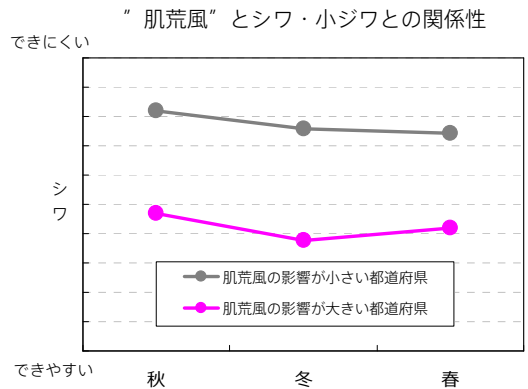
秋から冬にかけて北から吹く風は、日本海側で吹くときには、海の水分も含み比較的うるおっている傾向にあります。しかしながら、山脈を越える時に、山頂で水分を落とします。そのため、山脈を越えた先に位置する都道府県では、カラカラに乾燥した風が吹きやすい傾向にあります。

【“肌荒風”が肌に与える影響】

【図1】
“肌荒風”の影響が大きい地域と
小さい地域における、肌のうるおいの比較



【図2】
“肌荒風”の影響が大きい地域と
小さい地域における、シワのできやすさの比較



※日本気象協会/ポーラ共同調べ

“肌荒風”の影響が大きい都道府県と小さい都道府県で、肌のうるおいやシワのできやすさを比較したところ、“肌荒風”が吹く地域で生活している人のスコアの方がよくない結果となりました。また、美肌県グランプリ31位～47位の都道府県のうち、“肌荒風”の影響を受けやすい都道府県は約8割以上となっており、その地域で生活している人の肌状態に“肌荒風”が影響を与えている可能性が高いということが、今回の共同データ分析によりわかりました。

【図3】 風による皮フ温の低下

皮フ温が低下し冷えた肌は、血行不良により酸素や栄養が運ばれにくくなるだけでなく、クマ、くすみ、むくみの原因にもなります。

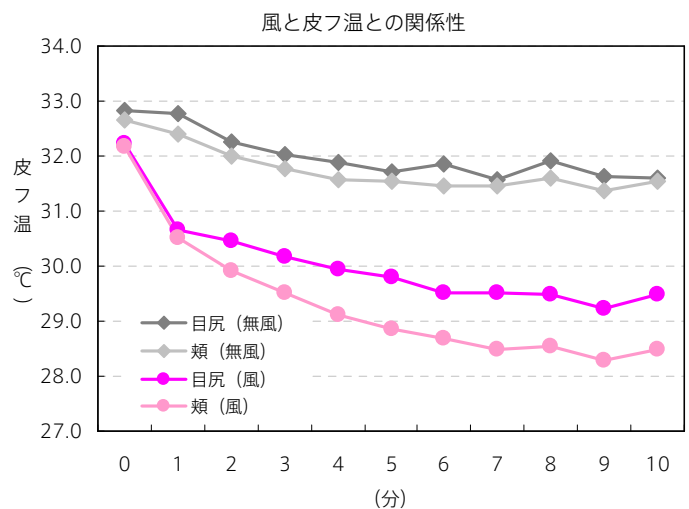
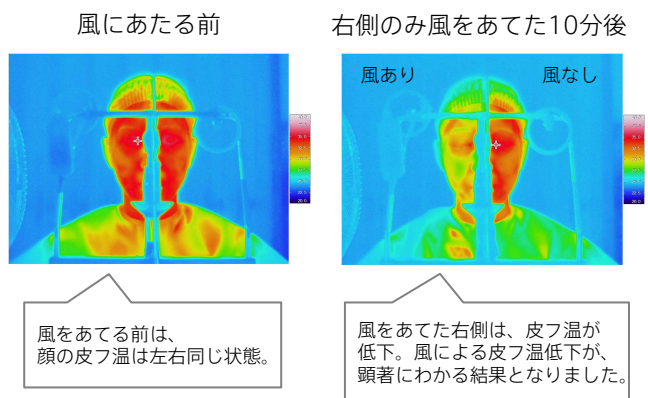
今回の実験は、人間が「肌に風があたっている」と感じる2.5m/sの風を顔の右側にあてて実施。

実験開始時には、皮フ温がほぼ同等でしたが、10分後には、風をあてた右側の皮フ温が下がり、顔の左右で皮フ温の差が顕著に表れました。特に、皮フ温が下がった右側の頬に関しては、約4℃も下がった結果となっています。

また、右側の皮フ温は風をあてた1分後に、急激に下がっていることも確認できました。駅から目的地まで数分歩いたり、自転車に乗ってスーパーに買い物に行ったりなど、「少しだから大丈夫」と油断していると、風により一気に皮フ温が下がってしまうので注意が必要です。

■実験概要

室温22℃、湿度40%の環境下で実施。
顔の右側のみ、2.5m/sの風を10分間あて、顔の左右の皮フ温をサーモグラフィーで測定しました。



※ポーラ美容研究室調べ (n=3)

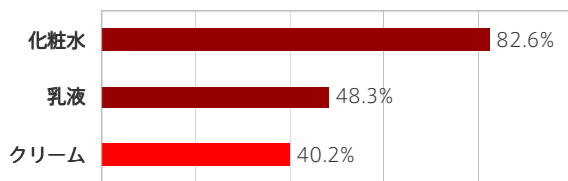
【“肌荒風”から肌を守る対策方法】

では、肌の乾燥と冷えの原因となる“肌荒風”から肌を守るには、どうすればよいのでしょうか。その答えは、「正しい保湿ケア」と、血行を良くし冷えた肌をあたためる「マッサージ」です。

■保湿ケア

「正しい保湿ケア」は、ローション、ミルク、クリームを使用することです。特にクリームは、うるおいを閉じこめ、肌の水分を保ち乾燥を防ぐ役割を持っているため“肌荒風”の影響から肌を守ります。しかしながら、「べたつく、好きな感触がない」などの理由で、クリームを使用していない人が多く見受けられます。実際に、ポーラ文化研究所の調べによると、肌のお手入れに化粧水を週5日以上使用している人が約82%に対して、クリームを使用している人は、その半数の約40%ほどにとどまっています。“肌荒風”でダメージを受けた肌には、日々のお手入れにクリームを取り入れることをおすすめします。また、日中の保湿ケアとしては、ベースメイクに保湿力の高いタイプを使用することで、乾燥から肌を守るようにしましょう。

スキンケアアイテム使用頻度 週5日以上
(スキンケア現実行者1377人)



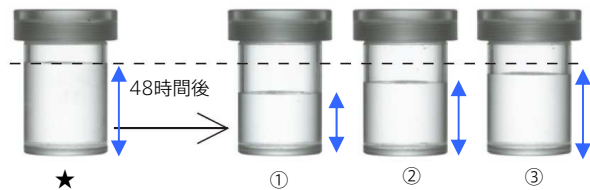
[ポーラ文化研究所：女性の化粧行動・意識に関する実態調査2014]

※ローション・ミルク・クリームの役割

- ローション** 肌にうるおいや保湿成分を与えます。
- ミルク** ローションからのうるおいをつなぎ、やわらかい肌に整えます。
- クリーム** うるおいを閉じこめ、しなやかでハリのある肌に整えます。

※クリームの保湿力

クリームの保湿力を調べるために、水を入れた容器にろ紙でフタをし、ミルク・クリームを塗布した時の蒸発度合いを観察しました。48時間放置した後、容器を確認したところ、クリームを塗布した容器が最も水分の蒸発を抑えられ、保湿力の高さを見込める結果となりました。

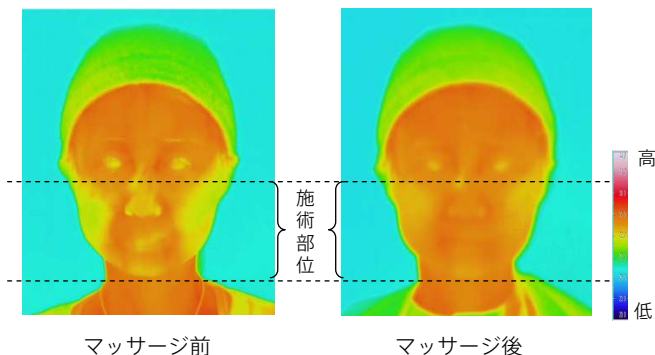


- ★水を入れた容器にろ紙でフタをする。
- ① そのままの状態 ② ミルクを塗布 ③ ミルク+クリームを塗布

■マッサージ

“肌荒風”は皮フ温の低下に影響を与え、“顔冷え”の原因となります。そのため、“肌荒風”に当たった日はマッサージを取り入れ、肌をあたためることが大切です。

マッサージ前後の皮フ温の変化



被験者にポーラ美容法のマッサージをしてもらい、マッサージ前後の顔の皮フ表面温度をサーモグラフィで測定。マッサージ後は、頬や目のまわり、鼻の頭、あご、唇など、顔全体の皮フ表面温度がマッサージ前より高くなっていることが分かります。普段のお手入れにマッサージを加え、“顔冷え”対策を行きましょう。

【参考資料】 『ニッポン美肌県グランプリ2014』 概要

調査方法： ポーラ ザ ビューティを含む全国のポーラのお店にて、アベックスのスキンチェックを受けた方の肌データを47都道府県別に集計。この集計結果をもとに全6部門（角層細胞が整っている、シワができてにくい、シミができてにくい、ニキビができてにくい、肌がうるおっている、キメが整っている）の肌データを独自の解析により得点化。6部門の合計値から偏差値を算出し、総合結果の順位を決定しました。

期間： 2013年9月1日（日）～2014年8月31日（日）

対象件数： 全国47都道府県 590,044件※1

※1 アベックス スキンチェックの実施件数（2013年9月～2014年8月）

都道府県	件数	都道府県	件数	都道府県	件数	都道府県	件数
北海道	17,534	茨城県	9,843	京都府	23,381	徳島県	3,584
青森県	3,546	東京都	23,959	滋賀県	14,412	高知県	3,955
秋田県	7,387	埼玉県	30,202	大阪府	48,388	愛媛県	4,158
岩手県	6,027	神奈川県	32,710	奈良県	5,275	福岡県	41,816
宮城県	3,860	山梨県	3,673	和歌山県	1,900	大分県	5,567
山形県	3,063	静岡県	30,181	兵庫県	18,223	長崎県	3,676
福島県	6,919	石川県	4,685	岡山県	6,016	佐賀県	5,067
新潟県	8,187	富山県	5,461	広島県	10,204	熊本県	6,234
長野県	13,090	福井県	3,272	鳥取県	1,347	宮崎県	4,535
群馬県	15,082	愛知県	58,368	島根県	2,522	鹿児島県	4,926
栃木県	4,578	岐阜県	33,854	山口県	10,974	沖縄県	2,359
千葉県	23,084	三重県	8,342	香川県	4,618	合計（件）	590,044

水蒸気密度とは？

水蒸気密度とは、実際の大气中の水分量を表し、空気1m³に水分が何グラム含まれているかを示し、その温度での飽和水蒸気密度×相対湿度から求めます。単位体積中の水分量が変化しなくても、空気温度が上がれば相対湿度は下がり、空気温度が下がれば相対湿度は上がります。空気は温度が高いほど多くの水分を含むことができる性質があり、例えば相対湿度が同じ50%でも、0℃と22℃での空気では、その水分量は1.9gと8.2gで4倍も違います。気温の低い北日本は、相対湿度が南日本と同じであっても、空気中の水分量が少なく乾燥しているため、お肌にとっては厳しい環境にあるといえます。

水蒸気密度 計算方法

各都道府県の温度と飽和水蒸気密度の値より相関係数0.999の近似式を作成し、これに気温と相対湿度の値を当てはめ算出した。

各都道府県の気温℃、相対湿度%RH、水蒸気密度g/m³

水蒸気密度=a×b÷100 [a：飽和水蒸気密度 (a=5×10^{0.025c})、b：相対湿度、c：気温]



ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」のオフィシャルパートナーです。